

今日もたべた？本ごはん

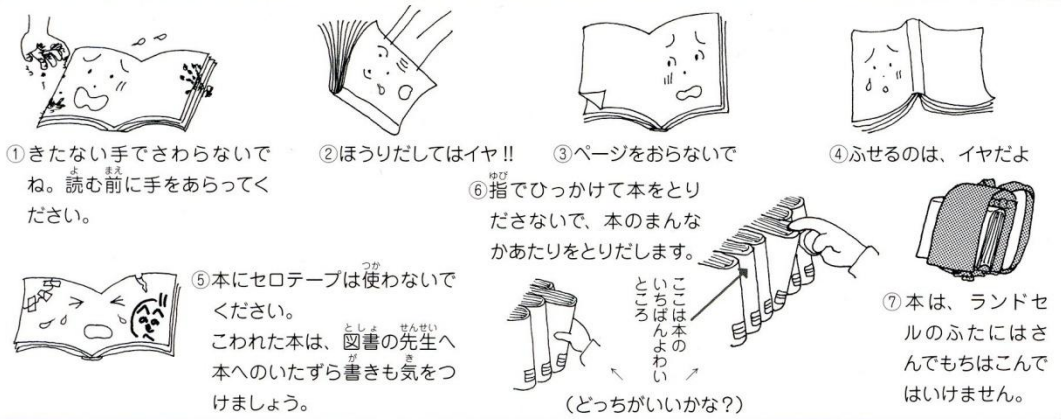
とうごうしょうがっこう としょかん へいせい ねんど がっこう
東郷小学校 図書館だより 平成26年度 4月号

めざせ目標冊数!



1 本からのおねがい

○たくさん読みましょう。 ○だいにじにしましょう、みんなの本です。 ○しずかに読みましょう。



入学・進級おめでとうございませう

五感を楽しませてくれた桜の花も散り、吹く風も暖かく感じられる季節となりました。

新しい1年がスタートしました。入学そして進級、おめでとうございませう。新入生のみなさんは毎日が新しいことばかりで、ドキドキワクワクしていることでしょうね。

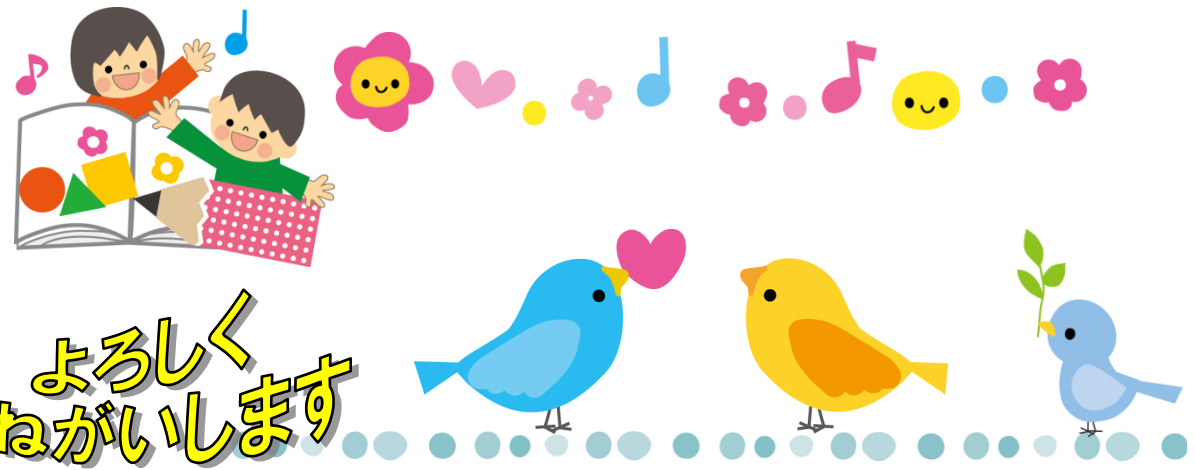
“図書館オリエンテーション”では「図書室のきまり」や目標冊数について確認しましたね。各学年の目標冊数は、1・2年生が150冊、3・4年生が130冊、5・6年生が100冊です。オリエンテーションでもお話ししましたが、まずは自分の学年の目標冊数をめざしましょう。前の学年でそれがクリアできている人は、去年の自分の冊数がこえられるようにがんばりませう。おすすめの本を準備して待っていますよ!



としよつ 図書館の3つの約束

- ① 図書室に入ったら忍者になって“しのびの術”をつかいます
—しずかに活動するために
- ② 本をとりだすときは、指でひっかけてとりだしません
—本を大切に扱うために
- ③ 本を返す場所がわからなくなったら、本の背ラベル(本の住所)をみます
—本をもとの場所に返すために

としよつ やくそく まも
図書館での約束を守って、みんなで気持ちよく利用ませう



よろしくおねがいします

東郷小学校の図書室に来て、4年目の春がスタートしました。今年度も東郷小と鳥丸小の2校を担当します。中山久美子です。どうぞよろしくおねがいいたします。

図書館だよりでは、「今月の詩」として、毎月1つの詩を紹介しています。今年度も、みなさんが使っている国語の教科書をつくっている“光村図書出版”の編集部の方々が選んだ『声に出して楽しみたい詩』を紹介していきます。「国語の学習活動ではなく、ただ作品を楽しむ方法の一つとして『音読』というものに出会ってほしい」という、思いのもとに選ばれた詩です。テンポや声の大きさ、声色、間を思ったように工夫して、自分なりの作品の世界を体の外に送り出してみてください。実際に声に出して読んでみると、またちがった魅力やおもしろさに気づくはずですよ。来月号から掲載していきますので、ぜひ親子で声に出して楽しんでください。親子読書の日にもおすすめですよ!

4月 今月のいいね!

中山の休日 柳田邦男・あべ弘士 一生きる力、絵本のカー

あべ弘士さんの本!

わしは、こどもとさんぽするのがすきなだけだ。



『ライオンのよいいちにち』

あべ弘士 佼成出版社

ライオンのとうさんは、子どもたちを引きつれ散歩に出ます。出会う動物たちは、「子守りをして、えらい」と感心します。

ライオンのマイペースな子育てぶりを、大胆なタッチでユーモラスにえがいた絵本です☆

この本まじです!

7冊の本が図書室からなくなっていました。お家や教室でさがしてもらえませんか? 本を見つけた人は図書室までもってきてください。よろしくおねがいします!

	本の題名	本をかいた人
1	びよこたんのなぞなぞめいろ500	このみ ひかる
2	まちがいさがし大問題 妖怪編	このみ プラニング
3	ひみつたんていワンダーモール2	はら ひろあき
4	椋鳩十の愛犬物語	椋 鳩十
5	椋鳩十のネコ物語	椋 鳩十
6	ミック! 7	ウォルター・ウィック
7	おかあさんがおかあさんになった日	長野 ヒデ子

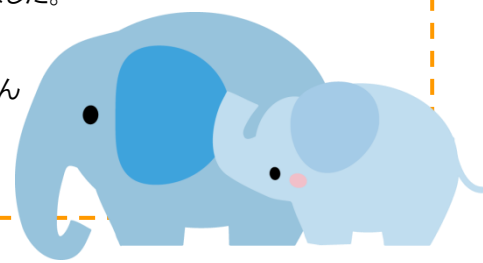
3月22日に薩摩川内市の中央公民館で、作家の柳田邦男さんと絵本作家のあべ弘士さんのトーク&対談がありました。

柳田邦男さんは、『エリカ 奇跡のいのち』や『だいじょうぶだよ、ゾウさん』などの絵本の翻訳をされています。あべ弘士さんは、「あらしのよるに」シリーズの絵をかいた人と言えば、ピンとくる人も多いでしょう。他にも、あべ弘士さんは、『どうぶつえんガイド』(2年生)や『どうぶつ句会』(4年生)など、国語の教科書に紹介されている本もあるので、知っている人もいるでしょうね。

今回は、最初に柳田さんとあべさんが別々に1時間ずつ講演をされ、最後の1時間でお二人の対談という形式でした。あべさんは、あの北海道旭川市の旭山動物園の元飼育係! 25年勤めた経験と知識から、動物園の裏話(動物を逃がしてしまった話とか...)などを披露してくださり、動物への愛情とユーモアあふれるお話でした。一方、柳田さんは、絵本の大切さをお話してくださいました。「絵本は心を育てる特効薬」、「絵本は声に出して読むもの」ということが胸に残りました。

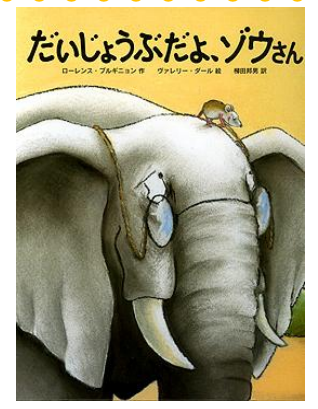
今回の講演会で、あらためて絵本の楽しさと大切さを感じました。

絵本は子どものためだけのものではありません。ぜひ大人のみなさんにも読んでもらいたいと思います。やっぱり、絵本は親が子どもに読みかかせをして楽しむのがいちばんですよ!



柳田邦男さんの本!

大好きな人が遠くに行ってしまうとき——あなたは・・・?



『だいじょうぶだよ、ゾウさん』

ローリス・ブレイクソン 作 柳田邦男 訳 文溪堂

おさないネズミと年老いたゾウは、毎日仲よくくらしていました。けれども、ある日、ゾウは「もうすぐ遠いゾウの国に行つて、もうもどらない」とネズミに言いました。最初は、それをうけ入れられなかったネズミでしたが、いくつもの季節がめぐるなか、弱ってきたゾウの世話を一生けんめいするうちに…。

